



田植機による田植え



大型コンバインによる収穫

田植えは、5月はじめから田植機を使ってはじまりますので、短い作業時間で出来るようになりました。田植えが終わると、病気や虫の害をふせぐため動力噴霧機ふんむきという機械のうを使って農薬散布やくさんふを行っています。稲刈りいねかは9月下旬からはじめられ、ふつうバインダーを使っておこなわれていますが最近では、稲刈りとだっこくを同時におこなうコンバインも多くなってきました。このように機械化が進み農家にとっては手間がかからなくなってきました。

(2) 葉たばこ

村の葉たばこは、白遠州しろえんしゅうという品種で総農家数の22%の127戸の農家によって耕作されています。